

道路整備の促進について

関東部会提出
説明担当 海老名市

道路は、産業経済活動の活性化を促進し、均衡ある都市の発展と豊かな市民生活を支える最も根幹的な社会基盤であり、その整備は広く市民の望むところである。

しかしながら、首都圏の道路の現状は、人と物が集中する地域でありながら物流の大動脈である高速道路網や国道等の道路整備が遅れており、渋滞による経済損失は大きな問題となっている。また、慢性的な交通渋滞は、大気汚染等の環境問題をも引き起こしている。

こうした課題を解決するため、圏央道（横浜湘南道路、さがみ縦貫道路、高速横浜環状南線）新東名高速道路等の広域的な幹線道路を始めとする高規格幹線道路網および国道など主要一般道路網の整備を早急に図る必要があり、都市部地域の道路整備は特に重点的に推進することが急務である。

ついでには、首都圏の幹線道路網の整備を着実・計画的に推進するため、なお一層の道路財源の確保を強く要望する。